

平成30年度改定を受けて全面的に書き換え、

小児在宅医療診療報酬の手引き

—事例を中心に、主として診療所を対象として—

第4版

を発行いたしました

小児在宅医療診療報酬の手引き
—事例を中心に、主として診療所を対象として—
第4版



一般社団法人大阪小児科医会
—平成30年6月—

診療報酬体系の在宅医療部分は、高齢者を想定して作られている部分が多く、小児の在宅医療の算定は難しい面があります。そこで、在宅専門医や一般小児科開業医らがみんなで話し合っ、初心者でも分かりやすい手引きを作ってみました。

巻頭言

- I はじめに
 1. 「小児在宅医療診療報酬の手引き」作成の経過
 2. 平成30年度改定に際しての主な変更点
- II 小児在宅医療の診療報酬算定のルール
小児在宅医療の診療報酬算定方法フローチャート
- III 症例に基づいた小児在宅医療の診療報酬算定の実際
一般的な症例 / 看取り例 / きょうだい例
- IV 在宅移行と退院前カンファレンス チェックシート付
- V 在宅医療と診療報酬の基本的事項
- VI 連携における診療報酬
- VII 訪問看護療養費(訪問看護ステーション)
- VIII 小児在宅医療の診療報酬を上手に算定するポイント
コラム 様式集 / 索引

≫「手引き 第4版」の特徴

- 平成30年改定を受け、模擬症例で実際に算定し、レセプトも明示。
- 算定が難しい在宅移行時、看取り例、きょうだい例についても詳しく説明。
- 基礎知識(往診と訪問診療の違い等)の分かりやすい解説付き。
- トランジション問題や相談支援専門員など、重要事項をコラムとして掲載。

1冊
1,000円
送料無料